（社）兵庫県サッカー協会

公 式 記 録

平成18年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　決 勝 【39】

主審署名	井上　知大

日 時	2006 年 11 月 12 日（日） 13 ： 05 キックオフ	会 場	神戸ウイングスタジアム				
天 候	曇りのち晴れ	風	弱風	ピッチ	芝 ・ クレー	状 態	良好 ・ 不良 ・ 泥沼
試合形式	80 分 / 延長 20 分 PK戦 有						
ﾏｯﾁｺﾐｯｼｮﾅｰ	辺見　康裕	会場主任	堀口　泰司	記 録	岡本　進司 ／ 茨木　伸之	観 衆	約 4,000 人
主 審	井上　知大	副審１	吉本　忠義	副審２	奥山　恒平	第４の審判員	鈴木　義章

チーム名	kick off				チーム名	kick off
関西学院高等部 先	0	0 前半 1	0 後半 1	2	先 滝川第二高校	
背番号 ○×		延前	延後		背番号 ○×	
		PK戦				

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	得点	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	得点	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分						熊取谷　直毅	2年	1	GK	GK	1	清水　圭介	3年						分	
	分						丸山　浩太	3年	2	DF	DF	7	川野　大介	3年						分	
	分						阿二　啓介	3年	3	DF	DF	4	田中　大二郎	2年						分	
	分						山下　浩平	3年	4	DF	DF	⑥	山本　翔太	3年						分	
	分						十河　生	2年	5	DF	DF	17	鳥濱　誠司	3年			1			分	
	分						山田　悠一	3年	⑦	MF	MF	19	大塚　尚毅	2年	1	2	2			63 分	13
6	58 分						井上　大志	3年	8	MF	MF	8	金崎　夢生	3年			1			分	
23	76 分						横山　大樹	3年	16	MF	MF	10	橘　章斗	3年		3	1			分	
	分			1			梶川　諒太	2年	10	MF	MF	22	前田　竜太	3年			3			66 分	20
18	74 分				1		黒田　康平	3年	9	FW	FW	9	森本　健太	3年	1	3	3			分	
19	52 分						小山　慎太郎	2年	11	FW	FW	11	多田　高行	3年		3	1			74 分	23
	分						隅田　亮平	3年	20	GK	GK	21	小西　由紘	3年						分	
	分						大江　元	3年	12	DF	GK	12	近坂　春助	3年						分	
	分						芦田　彪介	2年	13	DF	DF	25	有本　勇	3年						分	
	分						水谷　隆宏	1年	14	DF	DF	2	清水　優作	3年						分	
8	分						西岡　貴	3年	6	MF	MF	23	友定　晃大	3年			1			分	11
	分						渡辺　侑弥	2年	15	MF	MF	13	建部　恭平	3年						分	19
9	分						春日　大輝	3年	18	MF	MF	15	吉波　毅顕	2年						分	
11	分			2			山内　一樹	1年	19	FW	MF	24	田中　大滋	3年						分	
16	分			1			浅尾　昇平	3年	23	FW	FW	20	山本　拓矢	3年			1			分	22

時間	警・退	No.	氏名	事由	山根　誠					監督	黒田　和生					時間	警・退	No.	氏名	事由
27 分	警告	16	横山　大樹	ラフ	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	分				
分					5			4	1	シュート	11	14			25	分				
分					20			11	9	ＧＫ	0	5			5	分				
分					1			1	0	ＣＫ	3	4			7	分				
分					7			2	5	直接ＦＫ	7	10			17	分				
分					0			0	0	間接ＦＫ	2	0			2	分				
分					0			0	0	（ｵﾌｻｲﾄﾞ）	2	0			2	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
30 分	滝川第二	19	大塚	0 － 1	中央 ⑦ ∩ 相手 ＦＰ こぼれ球 ⑨ ∩ ⑲ ＨＳ
69 分	滝川第二	9	森本	0 － 2	左 ⑳ → ⑰ ∩ 中央 ⑨ ＨＳ
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属【　県立芦屋高等学校　】　氏名【　井上　誠　】

関学はゲームメーカーの⑩梶川をトップ下に置く中盤をダイヤモンド型にした４－４－２のフォーメーション。対する滝川第二は⑧金崎と⑲大塚の２人をボランチに置く中盤をボックス型にした４－４－２のフォーメーション。序盤からシンプルにツートップの23前田と⑨森本へ配球し、ミドルシュートを放つ滝川第二がゲームのペースをつかむ。一方の関学も最終ラインを下げずに豊富な運動量と粘り強い１対１の対応でボールを奪い、⑩梶川からの速攻を仕掛ける。均衡を破ったのは滝川第二。前半３０分、ＣＫのこぼれ球を⑲大塚がヘディングで押し込んで先制。１－０で前半を折り返す。後半も立ち上がりから滝川第二の攻勢が続く。次第に関学の運動量が減り、滝川第二のボール支配率が上がる。そして、後半２９分左サイドを崩した滝川第二⑰鳥濱のクロスを⑨森本がゲームを決定づけるヘディングシュートを決める。終始、ゲームを支配した滝川第二が２－０で勝利を収めた。お互いに球際の厳しいプレーはあるもののフェアな好ゲームであった。

［備 考］